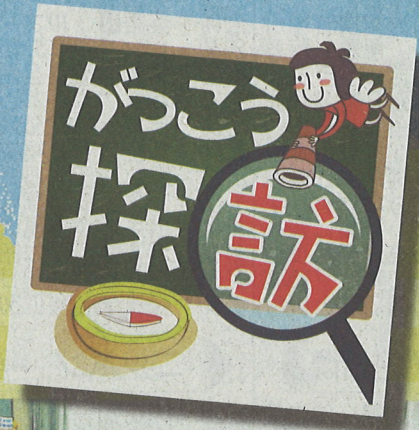


リズム遊びで交流する1年生



三朝町の東、西、南の三つの小学校の交流学习が2月22日、三朝西小などでありました。3校は4月に統合して新たに「三朝小学校」として開校します。この日は全校児童が集まり一緒に学習して親睦を深めました。

統合開校「三朝小」



3校児童が交流学习

来月から仲間

人権学習でそれぞれの考えを発表する6年生



3年生は理科の授業で協力しながらもの作りに挑戦!

3校はこれまでも学年ごとに合同学習を行い、同じ町に住む仲間として交流を続けてきました。最後の合同学習は算数や国語、体育など幅広く校舎全体を使って行われました。

1年生は音楽と道徳を学習。音楽では先生のピアノの曲に合わせて体を動かしながら次々と手をつないでいくゲームをして盛り上がりました。東小の津村宇星さん(7)は「他の学校の友だちとも自然に手をつなげて楽しかった」と笑顔で話していました。

3年生は理科の学習で、磁石で動くおもちゃ作りに挑戦。空き箱や紙コップなどを使い、作り方を相談し合いながら取り組みました。南小の福田直緒君(9)は「わからない所を聞き合って上手にできた。4月から仲良くできそう」と満足そうでした。

また、6年生は町総合文化ホールで人権学習を実施。6年生は春から三朝中で一緒に勉強します。その前に人権に関する考えを話し合うことで、お互いを理解し合いました。西小の金沢真心君(12)は「不安もあるけどみんなでがんばっていききたい」と力強く話していました。

4月からいよいよ同じ学校の仲間として歩み始める三朝町の子どもたち。期待に胸を膨らませていきます。(田中美千留)

